

制定：2020年10月21日

ディスクロージャーポリシー

1. 情報開示の基本方針

当社は、会社法、金融商品取引法等の関係法令および当社が上場する証券取引所が定める適時開示規則を遵守し、株主・投資家をはじめとするすべてのステークホルダーに対して、当社および当社グループの会社情報を公平かつ適時・適切に開示いたします。

また、当社は、関係法令や適時開示規則に該当しない情報についても、ステークホルダーに当社および当社グループへの理解を深めていただくうえで、有用であると判断した情報については、積極的に開示いたします。

2. 情報開示の方法

当社は、適時開示規則に従い、該当する情報については、東京証券取引所が提供している「適時開示情報伝達システム (TDnet)」を通じて公開するとともに、速やかに当社ホームページにも同一情報を掲載いたします。

また、当社は、適時開示規則に該当しない情報であっても、有用であると判断した情報については、当社ホームページへの掲載等により、できる限り公平かつ迅速に開示いたします。

3. インサイダー取引の防止

当社は、インサイダー取引の防止に関する社内規程を定めて、インサイダー情報（未公表の重要事実）の外部への漏洩防止および内部者によるインサイダー取引の防止に努めます。

また、インサイダー情報（未公表の重要事実）の発生が認定された場合は、情報管理責任者に社内イントラネットで遅滞なく通知することとし、株主・投資家との面談の対応者にも速やかに伝達いたします。

4. 沈黙期間

当社は、決算情報の漏洩を防ぎ、情報開示の公平性を確保するために、各四半期決算期日の翌日から当該決算発表日までを沈黙期間とし、決算、業績見通しに関する質問への回答やコメントを差し控えさせていただきます。ただし、沈黙期間中でも、適時開示規則において開示が必要となる事実が発生した場合には、適時・適切に開示いたします。

5. 業績に関する予想、計画、見通し

当社が開示する当期および将来の業績に関する予想、計画、見通し等については、開示日時点において入手可能な情報および合理的であると判断される一定の前提に基づくものであり、実際の業績や成果は、その後の経済情勢や市場環境の変化等の様々な要因により大きく異なる可能性があることに留意し、注意喚起を行ったうえで、開示いたします。

6. 第三者への情報開示と第三者による業績予想

当社は、機関投資家、アナリスト等に対し、既に公開された事実、周知の事実、あるいは一般的なビジネス環境等の限られた情報に限り言及し、当該特定の第三者のみに重要情報が伝わることはないよう、公平に伝達いたします。

また、第三者によるいかなる当社に関するコメント、業績予想等を支持することもいたしません。

以上